

ピーマンウイルス病対策講習会が開催されました

10月4日神栖市矢田部公民館で、丸や東関東連合組合が主催して、ピーマンを出荷する任意組合3組織を対象とした「ピーマンのウイルス病対策講習会」が開催されました。

当日は3組織から計31名が参加し、容易に接触伝染して感染が拡大していくモザイク病および抵抗性品種を打破するウイルスの拡大が著しい黄化えそ病についての講演を行いました。今年はモザイク病、黄化えそ病ともに過去にないレベルでの発病が起きており、生産者も危機意識が非常に高いことがうかがえました。

質疑もかなり深い内容の突っ込んだ議論が実施され、改めてウイルス病の難防除性が感じられる講習会となりました。ウイルス病は産地全体の課題であるため、今後とも組織の垣根を越えて支援を行っていきます。

